

## 伊那市地方創生総合戦略審議会 意見整理表

### 人口ビジョン

整理番号	箇所	意見の概要	(案)での反映	事務局の考え方
1	第7章人口の将来展望	自然動態2.07の目標値は人口置換水準であり、多くの自治体での目標となっている。社会動態については実現可能だろうという数字としては生かしてもよいのではないかと。ただ、人口についてはだいぶ乖離があるので修正の必要があるのではないかと。	令和27年(2045年)の目標人口、自然動態、社会動態を下記のとおり修正しました。 【目標人口】55,000人 【自然動態】2.07 【社会動態】+100人	第1期における2040年目標は以下のとおり 【目標人口】65,000人 【自然動態】2.07 【社会動態】+200人
2	第3章伊那市の人口の現状分析	出生率については、H28までは長野県の平均を上回る率で来たが、H29には下回っている。H29が減少した原因は何かあるか。また、H23に数値が改善している。その回復の要因も調べていただきたい。	H28以前は長野県保健所作成数値。H29以降は市健康推進課数値。	H22からH23の要因については不明だが、2つの年の出生数は大きく変わらないため、分母となる15歳から49歳までの女性が減少したことが要因と思われる。 (健康推進課)

### 総合戦略

3	第3章日本を支えるモデル地域構想 2 基本目標	今後高齢化が進む中で、健康寿命が延びれば、自然動態の改善にもつながると思われる。健康寿命の延伸に向けた社会保障や健康診断が充実していること一つの施策になるのではないかと。	基本目標①へ「健康寿命延伸」に向けた取り組み記載。(KPIは合計特殊出生率)	いただいた意見を反映しました。
4	第3章日本を支えるモデル地域構想 5 具体的な施策	伊那市へ進出する企業について、地元の人を積極的に雇用するみたいな約束みたいなものはできないのか。	5 具体的な施策(3)②(企業誘致)に記載。	各企業へは市民雇用を依頼し、インセンティブとなる補助金あり。 (産業立地推進課)
5	第3章日本を支えるモデル地域構想 5 具体的な施策	産業振興という点であれば観光が遅れている。観光が産業として成立しているという認識を持っていただいて計画を策定していただければと思う。	5 具体的な施策(2)②(観光)に記載。	
6	第3章日本を支えるモデル地域構想 5 具体的な施策	労働力不足の解消に向けて外国人労働力を活用するため、外国人が住みやすい環境づくりや外国人に観光で来ていただく取組を進めていただきたい。	5 具体的な施策(2)②(観光)、(2)③(交流事業)および(3)①(就労)に記載。	
7	第3章日本を支えるモデル地域構想 5 具体的な施策	高遠第二第三保育園への移住者が増えている。東京の人たちや市の職員たちが考えて、空き家の活用や空き家を生かす取り組みを検討してもらいたい。商売でなくとも活用できる仕組みを作って情報発信を行っていけば来てくれる人も増えると思う。	5 具体的な施策(2)①(移住)において空き家の活用を記載。	新規に地域おこし協力隊を配置予定。 (地域創造課)